

# 湯浅町駐車場事業経営戦略

団 体 名 : 湯浅町

事 業 名 : 駐車場事業

策 定 日 : 令和 4 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 4 年度 ~ 令和 13 年度

※複数の駐車場を有する事業にあつては、駐車場ごとの状況が分かるよう記載すること。

## 1. 事業概要

### (1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法非適	事 業 開 始 年 月 日	昭和59年4月1日
職 員 数	2 人	施 設 名	湯浅町営駅前駐車場
種 類	その他	構 造	広場式
立 地	駅	建設後(建替後)の経過年数	0 年
駐 車 場 使 用 面 積	3,132.53 m <sup>2</sup>	収 容 台 数	83 台
営 業 時 間	24時間営業		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	駐車場システム保守、一時預かり駐車料金の集金	
	イ 指定管理者制度	-	
	ウ PPP・PFI	-	

(2) 料金形態

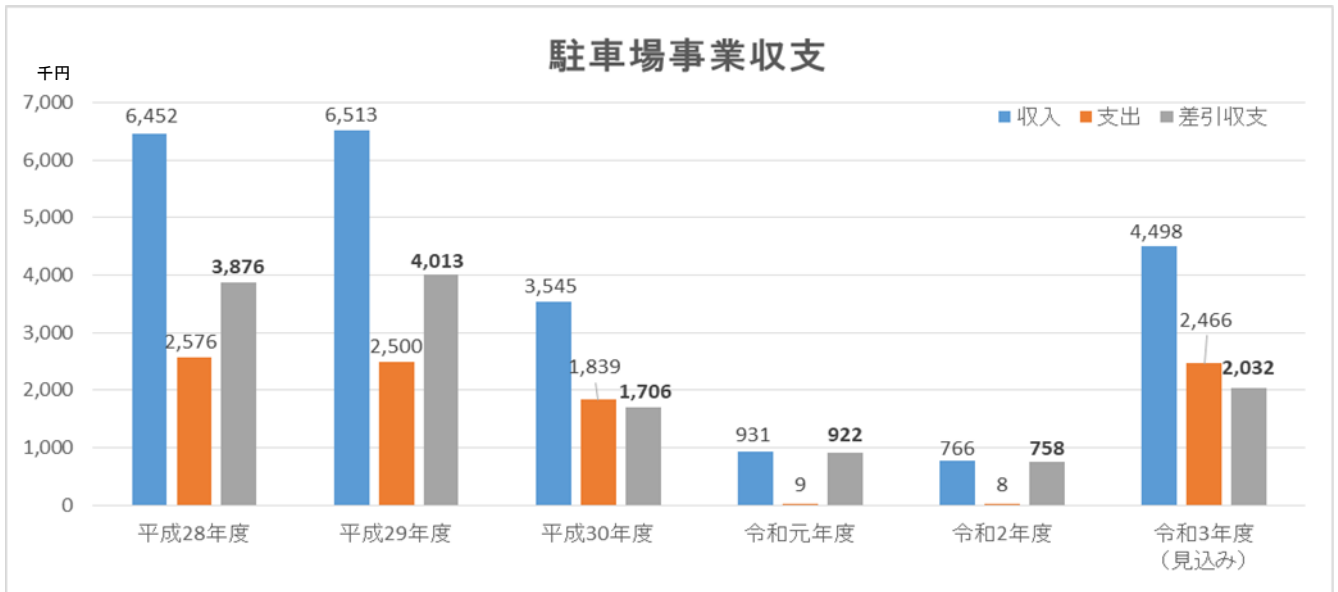
※近隣駐車場に比較して減免を行っている場合は、その点についても記載すること。

利用区分	駐車時間	駐車料金
一時預かり	入庫後2時間	無料
	入庫後2時間以降1時間ごと	100円
	入庫後24時間まで	最大500円
月極	終日	1か月につき 5,000円
料金形態の考え方	周辺の駐車場料金等から総合的に判断し、料金設定を行っている。 また、「湯浅えき蔵」(図書館や多目的に利用できる会議室等を備えた公共施設)の利用を促進するための施策として、一時預かり駐車場の入庫後の無料時間を従来の30分から2時間に変更した。	
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	令和3年6月1日	

(3) 現在の経営状況

※直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」(公営企業三課室長通知)による経営比較分析表)を添付すること。

駐車場の再整備に伴い平成30年10月より一時預かりを廃止し月極契約のみとしていたため、料金収入が大きく減少しているが、駐車場整備の完了に伴い令和3年6月より一時預かりを再開したため、今後は、駐車場収入が増加することを見込んでいる。また、駐車場の再整備にあたり、これまでの赤字を解消するため、平成30年度、令和元年度の2年に渡って一般会計より繰入を行った。



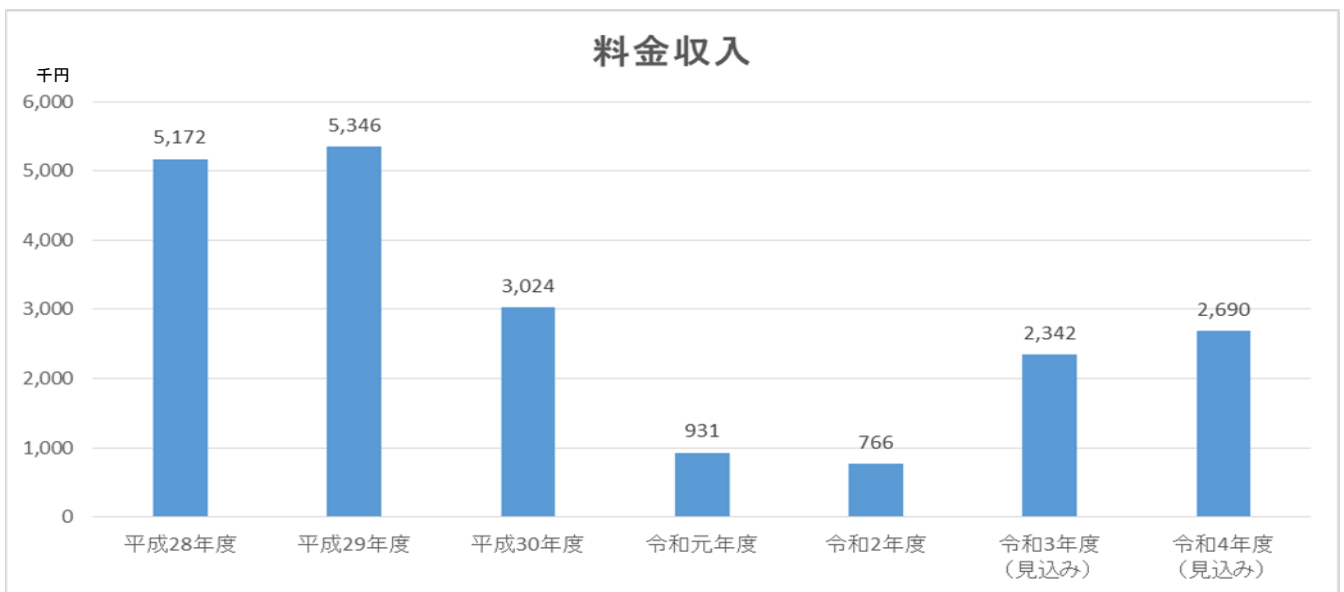
## 2. 将来の事業環境

### (1) 駐車場需要の見通し

駐車場再整備が完了し令和3年6月より一時預かりを再開したため、駐車場利用者の増加を見込んでいる。  
また、図書館や多目的に利用できる会議室等を備え、湯浅駅にも直結している「湯浅えき蔵」を整備したことも駐車場の利用客増加に寄与するものと見込んでいる。

### (2) 料金収入の見通し

平成30年10月より駐車場再整備に伴い一時預かりを一時廃止していたため、料金収入は大きく減少していた。  
令和3年6月より一時預かりを再開したため、料金収入の増加が見込まれるが、以前は入庫後30分無料としていた料金形態を入庫後2時間無料とするため、以前ほどの料金収入は見込めないものと考えている。  
入庫後2時間無料とする料金形態は、「湯浅えき蔵」の利用を促進する町の施策であるため、この1時間30分の無料時間延長に係る料金相当分を一般会計から繰入れることを予定している。



### (3) 施設の見通し

再整備が完了したところであり、当面の間、大規模な修繕等は必要ないものと見込んでいるが、駐車場の利用状況を注視し、施設の規模が適切であるか等の検証が必要である。  
また、精算機やゲート等の機器については、適切な保守、定期点検等を実施したうえで長期間使用していく方針であるが、設置後10年目となる令和12年度に取替を計画している。

今後の施設投資等の計画と費用見込み

年 度	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
機 器 取 替	←→										←→
舗 装 等 修 繕						←→					
費 用 見 込 み ( 千 円 )	<b>16,632</b>					<b>9,875</b>					<b>19,958</b>

### (4) 組織の見通し

集金業務等の一部業務を委託とし、兼務職員2名体制となっている。  
今後も極力経費を抑えるよう、同様の体制で運営する予定である。

### 3. 経営の基本方針

- ①路上駐車削減等により、道路交通の円滑化を図る。
- ②通勤、通学、観光等の要所となる駅の利用を支援し、公共交通機関の利用促進を図る。
- ③公共施設や町内商店等の利用者の利便性を高めるとともに、町内の商業を支援する。

### 4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり
- (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明
  - ① 収支計画のうち投資についての説明

再整備が完了したところであるが、今後長期間施設が利用できるよう、設備等の大規模改修を計画的に実施する。精算機、発券機、ゲート等の機器について、設置後10年目となる令和12年度に取替えを計画している。

#### ② 収支計画のうち財源についての説明

近隣施設である「湯浅えき蔵」の利用を促進する施策として、当駐車場の一時預かり利用料を従来の入庫後30分無料から2時間無料に変更したため、1時間30分の無料時間延長に係る料金相当分を一般会計から繰入れることとした。

#### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

定期的に設備等の点検を行い、不具合の早期発見、早期修繕を徹底することで費用の削減を図る。固定費についても、削減できる経費がないか定期的に見直しを行う。

#### (3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。  
また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

#### ① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	安定した経営を図るため、管理業務委託等の検討を行う。
駐車場の配置の適正化	—
投資の平準化	定期的に点検を行い、不具合の早期発見、早期修繕を徹底することで費用の削減と平準化に努める。また、大規模な改修については、計画的に実施する。
その他の取組	—

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料 金	現段階では料金は適正であると考えているが、社会情勢や近隣駐車場の状況を考慮しながら適切な料金設定を行う。
利用者増加に向けた取組	利用状況や周辺環境の変化に応じた適切な対応を行う。
企 業 債	—
繰 入 金	入庫後の無料時間を延長したことに係る料金相当額以外の繰入を行う予定はない。
資産の有効活用等による収入増加の取組	公共の広場や施設が近くにあるという立地条件を生かした土地の有効利用を検討する。
その他の取組	—

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委 託 料	現在は、駐車場機器の保守点検及び一時預かり利用料金の集金業務のみ委託しているが、費用対効果等も勘案し、管理業務委託等の検討を行う。
管 理 運 営 費	管理運営費が過大に増加しないよう、コストの抑制に努め、効率的な運営を行う。
職 員 給 与 費	—
その他の取組	—

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	JR湯浅駅や図書館を含む公共施設「湯浅えき蔵」に近接して立地しており、公共交通機関の利用促進、および公共施設や町内商店等の利用者の利便性を高める機能を有している。
公営企業として実施する必要性	駐車場事業を運営することで、道路交通の円滑化を図るとともに、町民及び湯浅町への来訪者の利便性を向上させ、町経済の活性化を図る必要がある。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	毎年決算時に経営戦略の収支計画と実績の乖離を評価・検証し、社会情勢の変化等を踏まえて、後年に影響が生じると認められる場合において、経営戦略を見直すものとする。
---------------------	---



# 経営比較分析表（令和2年度決算）

和歌山県湯浅町 湯浅町営駅前駐車場

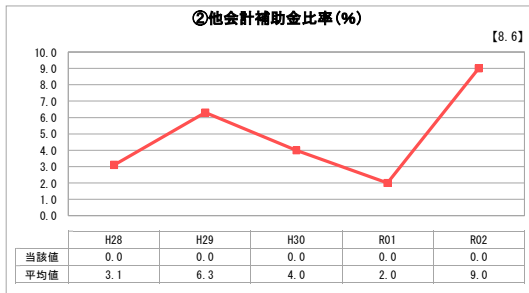
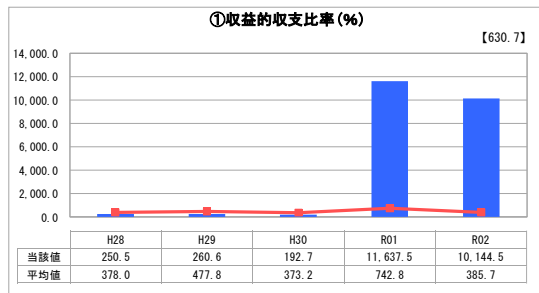
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	36	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	2,014
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
89	0	無

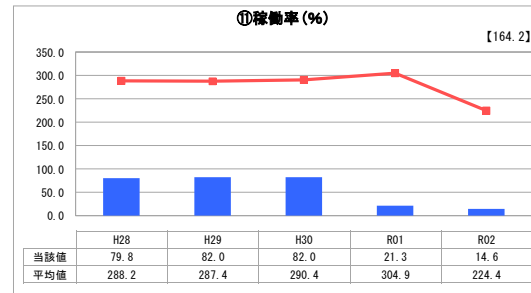
**グラフ凡例**

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 分析欄

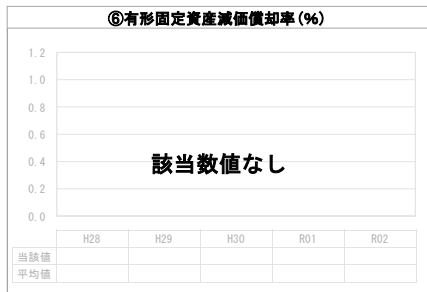
**1. 収益等の状況について**  
 新駐車場整備に伴い平成30年10月より一時預かりを休止しているため収益が大幅に減少しているが、駐車場ゲートリースや保守管理等の費用も減少しているため、収益的収支比率は大幅に改善している。  
 令和2年度は月極契約者が減少したため、各指標は前年度よりやや悪化している。

**2. 資産等の状況について**  
 現状、駐車場事業で保有している資産はない。

**3. 利用の状況について**  
 新駐車場整備に伴い平成30年10月より一時預かりを休止しているため駐車場の稼働率は大幅に低下している。  
 月極契約についても新規の受付は行っていないため、令和2年度は契約者が減少し、前年度より駐車場の稼働率は悪化している。

**全体総括**  
 新駐車場の整備工事を行っているため、駐車場事業は一時的に縮小している状況である。  
 次年度は新駐車場の供用開始を予定しており、駅前という立地の良さを活かして収益の改善と費用の低減による効率経営を図っていく。

## 2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)

20,768

⑧設備投資見込額(千円)

0

